

# クローズアップ 農家



## 国の根本である 農業を守る Vol. 7

JAあきた白神 ねぎ部会長

能代市朴瀬 山<sup>やま</sup>谷<sup>や</sup>初<sup>はつ</sup>男<sup>お</sup>さん(50)

今年から、JAあきた白神ねぎ部会長（部会員数173人・平成23年3月末）に就任した、山谷初男さん。ねぎ栽培歴は15年目を迎えて、栽培技術の向上に余念がありません。当JAが全国に誇る『あきた白神ねぎ』は、昨年過去最高の9億6千万円ほどの販売高を記録。全国ブランドとして、今後さらなる成長を目指しています。

「近年、春先の低温や干ばつ、夏場の猛暑などの異常気象で、生育不良や病害虫被害が問題となっています。ねぎ部会では対策として、夏ねぎの作期の前倒しを行い、7月初めから収穫できるような、新しい栽培体系を検討しています。」と山谷さん。実際に今年その栽培方法を行い、品質・収量ともに良好でした。

「他産地に負けない更なる品質向上を行い、また部会員・作付面積の増加を図って、年間10億円の販売高達成を目指します。」と力強く語ってくれました。

経営規模

・山	・水	・ね
う	稲	ぎ
ど	3	1.8
	ha	ha

▼収穫の最盛期を迎える



▼全国に誇る『あきた白神ねぎ』

